

**「高校生のための学びの基礎診断」認定された測定ツール  
(基本情報)**

事業者名	公益財団法人 日本数学検定協会					
測定ツール名	実用数学技能検定 準2級					
主な対象者	数学Ⅰ及び数学Aを学修した者					
対象教科	国語	数学	英語	⑤測定内容 の区分	基本タイプ	標準タイプ
		○				○
測定ツールの目的・概要	数学Ⅰ、数学Aの定着度合いを診断することを目的として、義務教育段階（中学校第3学年）の数学を含めて、基礎学力の定着度合いを確認したい高校1年生から3年生までを主な対象とし、知識・技能を活用する力と思考力・判断力・表現力を測定する。					
測定ツールの特長・活用例等	実用数学技能検定（数学検定）準2級は、1次：計算技能検定と2次：数理技能検定で構成。2次：数理技能検定ではおおよそ半数の問題が記述式。日常生活や社会の事象と関連した問題、数理的なゲームやパズルを扱った問題も出題。年間の実施回数が17回程度設定されているため、実施しやすい。個別成績票と団体成績表が充実しており、高校生の基礎学力の定着に向けたPDCAサイクルの取組を促進し、高等学校の質の確保・向上に資する検定となっている。					
実施期間、年間実施回数	年間17回程度実施					
実施方式 (CBT/PBT)	P B T					
試験時間(分)	国語		数学		英語	
			1次：計算技能検定 60分 2次：数理技能検定 90分			
受検料	3,500円（税込み） なお、2019年4月以降の申し込み分（6月検定）から3,700円（税込み）					
標準返却期間	マイページでの合否確認（電子媒体）は、検定日から約3週間後 検定結果（紙媒体）の到着は、検定日から約30日後					
URL(事業者のHPにおける測定ツール紹介)	<a href="http://www.su-gaku.net/">http://www.su-gaku.net/</a>					

指摘事項	出題に関すること	1 件
	結果提供に関すること	1 件
	運営その他に関すること	2 件